



2024年4月23日

各 位

上場会社名	株式会社アーレスティ
代表者	代表取締役社長 高橋 新一
(コード番号	5852 東証プライム)
問合せ先責任者	執行役員経営企画部長 清水 敦史
(TEL	03-6369-8664)

特別損失の計上（連結・個別）、繰延税金資産の取り崩し（連結）及び
通期連結業績予想の修正、並びに配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年3月期通期（2023年4月1日～2024年3月31日）の連結及び個別決算において、下記の特別損失及び繰延税金資産の取り崩しを計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、2023年10月25日付で公表しました2024年3月期通期の連結業績予想並びに配当予想を修正することとしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上、繰延税金資産の取り崩し（連結）及び関係会社株式評価損等の計上（個別）について

(1) 固定資産の減損損失の計上、繰延税金資産の取り崩し（連結）

当社グループの中国ダイカスト事業においては、自動車市場構造の急激な変化に伴い、当社主要顧客である日系自動車メーカーと中国系EV（電気自動車）メーカーとの競争激化による減産影響を大きく受けており、早期に再成長シナリオの軌跡に戻していくためにも事業ポートフォリオ見直しと成長領域への戦略的な投資、加えて生産能力の最適化のための検討を開始しております。

このような状況の下、連結子会社である広州阿雷斯提汽车配件有限公司、合肥阿雷斯提汽车配件有限公司等が保有する事業用資産について、将来の回収可能性を慎重に検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として約90億円を計上する見込みとなりました。併せて、中国における今後の業績見通しを総合的に勘案し、繰延税金資産の回収可能性について検討した結果、当該資産約7億円を取り崩す見込みとなりました。

また、当社及びその他の連結子会社が保有する事業用資産につきましても、直近の業績動向を踏まえた将来の回収可能性を慎重に検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として約23億円を計上する見込みとなりました。

2024年3月期は当期純損失となりますが、来期以降の事業環境に沿ったバランスシートの適正化により、更なる安定した事業運営を行ってまいります。

(2) 関係会社株式評価損（個別）

当社が保有する海外拠点に係る関係会社株式評価損約13億円を個別決算において特別損失に計上する見込みとなりました。

なお、当該関係会社株式評価損は連結決算上消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

2. 業績予想の修正について

(1) 通期連結業績予想の修正 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	155,000	2,400	2,200	1,400	54.16
今回発表予想(B)	158,000	2,200	2,500	△9,000	△351.26
増減額(B-A)	3,000	△200	300	△10,400	
増減率(%)	1.9	△8.3	13.6	—	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	140,938	23	94	△84	△3.26

(2) 修正の理由

2024年3月期通期連結業績予想の売上高、営業利益、経常利益につきましては、概ね前回予想通りに推移する見込みとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記1.減損損失の計上、繰延税金資産の取り崩しの内容を特別損失及び法人税等調整額へ計上することから前回予想を下回る見込みとなりました。

3. 配当予想の修正について

(1) 配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想		10円00銭	20円00銭
今回修正予想		5円00銭	15円00銭
当期実績	10円00銭		
前期実績(2023年3月期)	5円00銭	5円00銭	10円00銭

(2) 修正の理由

当社は、中長期的な事業発展のための財務体質と経営基盤の強化を図ることを考慮しつつ、適正な利益還元を行うことを基本方針とし、中長期の企業成長に必要な投資額及び配当性向を勘案したうえで、連結業績の動向も十分考慮した配当を行っていくこととしております。

今回の通期業績予想の修正に伴い、期末配当につきましては、誠に遺憾ながら前回予想の1株当たり10円から5円減配し1株当たり5円へ修正させていただきます。これにより2024年3月期の1株当たり年間配当金は15円となる見込みです。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、早期の業績回復、事業成長において収益力の向上に努めてまいりますので、ご理解と引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上